発行月：平成25年7月　家族新聞　第28号

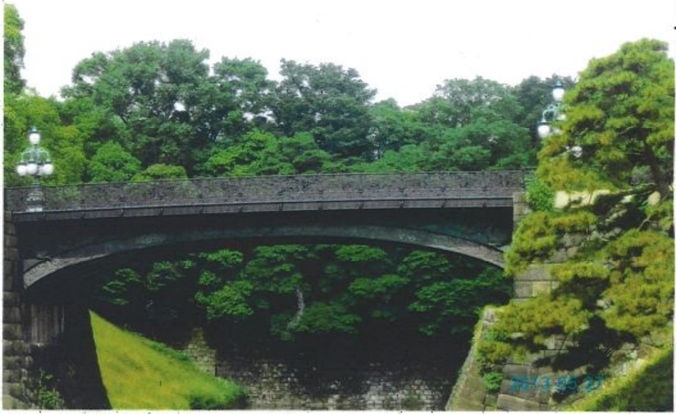
環境教育「まず、今できることから」

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋賢一
連絡先 市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目５番地７
（渋川福祉センター内）
TEL0561-51-2878

歴史に学ぶ

皇居は、大都会の中心で気軽に400年の時を超える旅ができる場所。同時に四季折々の豊かな自然を身近に味わうことで、いつも新鮮な驚きが見つかる所だったのである。営団地下鉄・千代田線二重橋前駅をおりて、皇居前広場に向かう道路にこんな案内板がある。二重橋は皇居正門石橋よりさらに奥に鉄橋がそれです。この橋はもと江戸城西の丸下乗橋（げじょうばし）といわれ擬宝珠高欄つきの幅六・七メートル長さ二十九・一メートルの木橋で水面から橋くて橋柱を支える必要から中途に台を設けたため橋の形が二重になっていたところから「二重橋」とも呼ばれていた。

二つのアーチを持つ皇居正門石橋が望める。

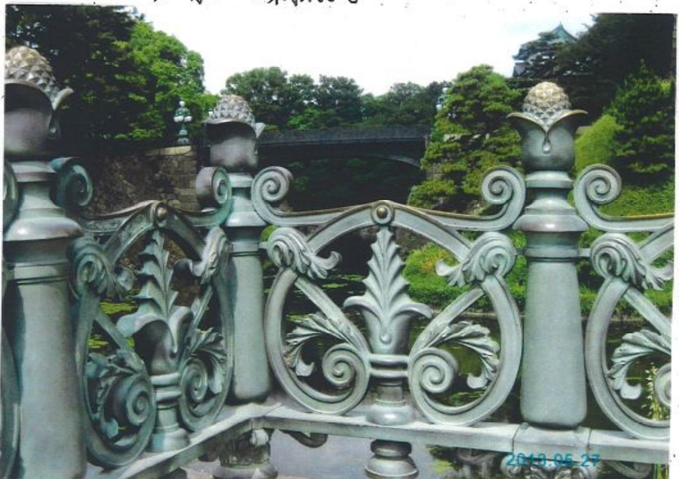


皇居正門石橋とその奥に架かる皇居正門鉄橋が本来の二重橋。明治宮殿築造が始まる明治20年（1887）より前、この界隈に老中たちの武家屋敷が並んでいた時代まで、この橋の下にもう一つの橋桁が存在していたそうである
現代の二重橋の風景は誰もが知る皇居の代名詞といえるものですが、その名前どおりの姿を目にした人は多くなかったのかもしれない。

皇居がかつての江戸城であることはいうまでもないその江戸を居城と定めたのは太田道灌で城づくりは長禄元（一四五七）年にさかのぼる。

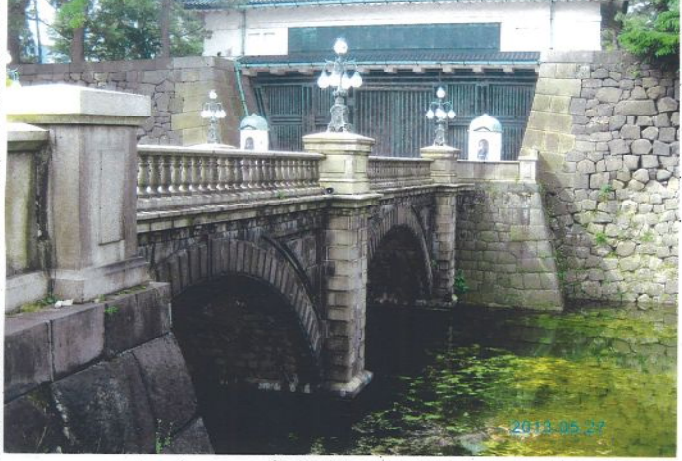
我庵は松原つづき
海近く富士の高嶺を
軒端にぞ見る。

当時は東京駅、日比谷公園まで遠浅の海で浅草ノりの名産地だった。



このデザインがすばらしく装飾壁として注目を集めております東京のマーク
イチョウのエンブレムではないかな
それとも徳川葵の紋かな.

正門を守る守護エンブレム動物はライオンかな!!
青銅製門灯でいいのか重厚な守り神である。



マナー違反罰則（二〇〇〇円）罰金
千代田区はノースモーキング外国人がタバコを吸って歩いておりました。